

御経塚

毎年7月の土曜日



御経塚地区の虫送りは、佐那武神社を出発し、御経塚史跡公園を目指して歩きます。道中、辻などにとまり、太鼓を鳴らします。

歩きながら打つのを「アルキダイコ」止まって太鼓によじのぼって打つのを「トマリダイコ」というよ

五穀成就稲虫送り



むかし、押野や御経塚地区では屋間の行列では、「ハタオクリ」といった「五穀成就稲虫送り」といった豊作を祈願する言葉の入った旗を子供達が持って田んぼのまわりをまわりました。

押野

毎年7月の土曜日



押野では、細長いバチをオオバイ短くて太いバチをコバイと呼ぶよ

押野地区の虫送りは、午後7時に高皇産霊神社を出発し、地内をまわって歩き、押野中央公園の大たいまつを目指します。途中、御経塚や白山市横江の虫送り太鼓も応援として駆けつけます。



以前は、長さ約3m、直径約1mの「ムカイダイヤモンド」が行列の前後を練り歩きました。写真は昭和40年代。

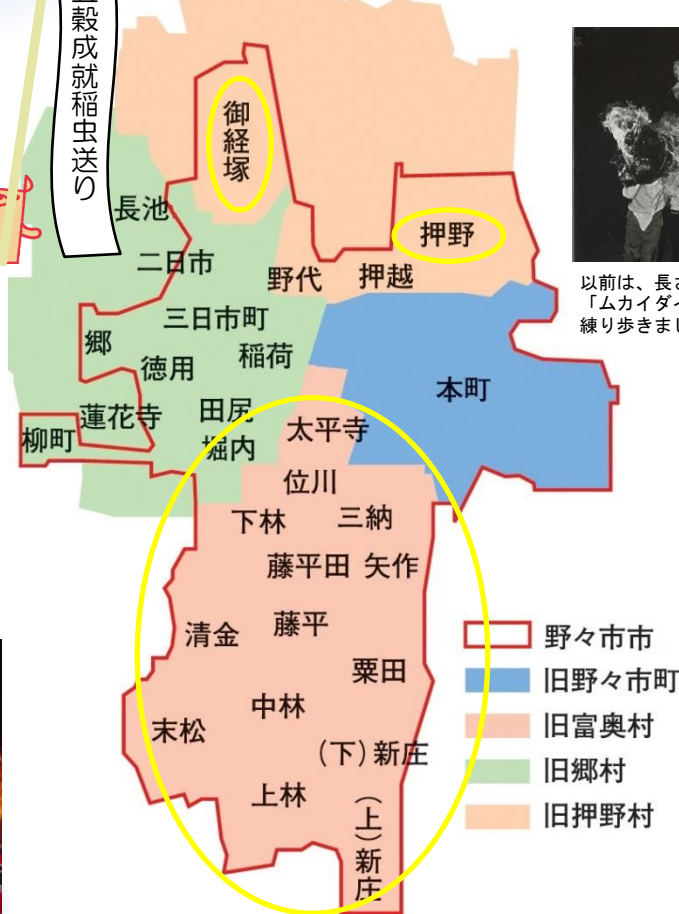
富奥

毎年7月20日前後の土日



富奥地区は、14集落がそれぞれの地区の神社を出発し、野々市市スポーツランドふれあい広場を目指します。虫送りのラストを飾る大たいまつやぐらは12mをこえます。

富奥では、集落ごとに太鼓のたたき方に特徴があるよ、それから行きの道、広場、帰り道それぞれでもちがうみたい。



高張提灯と太鼓を先頭に歩く虫送りの行列
昭和48年(上林)